

平成17年6月期 第三級海上特殊無線技士 試験問題

無線工学

1. 周波数が高くなるほど、波長は短くなる。
2. SSB方式は、周波数変調の無線電話に用いられる。
3. スリーブアンテナは、指向性アンテナである。
4. 超短波を用いる通信では、直接波と大地反射波が利用される。
5. 相手の通信を受信するとき、音量つまみで聞きやすい音量に調節する。
6. 直流を交流に変える装置をインバータという。
7. DSB方式の無線電話装置は、プレストーク・ボタンを押すと直ちに電波が発射される。
8. スケルチつまみは、送信する電波の雑音を消すために使用する。
9. 電離層の状態は、昼間と夜間又は季節等によって変化しない。
10. 船舶用レーダーは、アンテナ位置が海面より高いほど探知距離は伸びるが、探知のできない死角範囲も広がる。